

6回生 選択科目「地理B」授業のシラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理B	単位数	4単位
科目の目標	○現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
教科書	新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副教材	最新地理図表 GEO（第一学習社）		

1 学習の目標

- 地理的な問い方や調べ方、見方や考え方学び、現代世界に生起している課題を地理的に追求、考察する力を身に付けます。
- 大学入試センター試験、私立大学一般入試に対応できる学力を身に付ける。

2 学習の方法

- 予習について
○基礎用語を確実に身に付けてください。
- 授業について
○国・河川・海流・山脈・都市名・専門語句など地理における基本用語を覚えるために小テストを実施します。
- 復習について
○授業後、次の授業前までにノートを開き、学習した内容を思い出して下さい。その際、わからないことがあったら教科書・資料集などを用いて確認しましょう。

〈学習アドバイス〉

- ノートの書き方・写し方～理解しやすいノート術
 - ・ノートは、授業内容を理解し記憶するための道具です。授業で先生が説明した内容を線や図で書き込むなど、情報量が多ければ多いほど、記憶に残りやすくなります。先生の説明した話や余談も、どんどんノートの余白に書き込んでください。
- アウト・プットのトレーニングで理解度アップ
 - ・地理歴史の科目は、ただ「理解して覚えている」だけでは問題は解けません。覚えた知識を使って問題を解く、「アウトプット・トレーニング」が重要です。ある程度、ノートと教科書で大まかに勉強したら問題集の「ポイント整理」をして「演習問題」を解いてください。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
②思考・判断	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
③資料活用の技能・表現	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追求する技能を身に付けるとともに、追求した過程や結果を適切に表現する。
④知識・理解	現代世界の地理的事象について基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	定期 考査	単元 テス ト	小 テス ト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノ ー ト	ワー ク シ ー ト	討 議	姿勢 態度	
①関心・意欲・態度						○			○			○	
②思考・判断		◎		○									
③資料活用の技能・表現		◎		○									
④知識・理解		◎		○									

〈担当者からのメッセージ〉

- 地理は、「なぜ」そのようになっているのか「地域の理」（土地のさまざまな事象を記録し、そこから法則を見いだすこと）を明らかにします。教科書の記述内容を覚えても得点につながりません。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に示すことができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何よりも自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション (1)	1 年間の学習について (1)			
5	第Ⅰ部 地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 (3)	1 節 現代世界の地図	○地図の図法の特徴、主題図（ドットマップ、等値線図など）の特徴について理解している。④ ○経度差を活用して時差を求めることができる。②		ABCDELM
	2章 地図の活用と地域調査 (1)	2 節 地図の種類と利用 3 節 地理情報の地図化			ABCDELM
6	第Ⅱ部 系統地理的考察 1章 自然環境 (20)	1 節 世界の地形 (5) 2 節 世界の気候 (10)	○世界の地形、気候、植生などについて理解し、それらの分布や人間生活とのかかわりについて関心を高め、系統地理的に考察している。①② ○地形図、雨温図などの資料や情報を系統地理的に追究する技能を身に付けている。③ ○地形の特徴、気候と生活のかかわりと地域性による違いについて理解している。④	1学期中間考査	ABCDELM
7	2章 資源と産業 (15)	3 節 日本の自然の特徴と人々の生活 (3) 4 節 環境問題 (2)	○日本列島の地体構造や地形、気候の特色について理解させる。 ○世界の環境問題について関心もって、意欲的に学習に取り組んでいる。① ○世界の環境問題について、資料を収集し、役立つ情報を適切に選択し、活用することを通して、技能を身に付けようとしている。③		ABCDELM
		1 節 産業の発達と変化 (1) 2 節 世界の農林水産業 (4)	○産業について理解をしている。④ ○世界と日本の農林水産業の現状を理解しその問題点を考察している。②		
		3 節 食糧問題 (1)	○世界と日本の食料問題について関心を高め、人口問題との関わりから、その解決策について意欲的に取り組んでいる。①		
		4 節 世界のエネルギー・鉱産資源 (3)	○世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、国、地域ごとの違いについて理解している。④		
		5 節 資源・エネルギー問題 (2)	○世界の資源・エネルギー問題について関心もって、意欲的に学習に取り組んでいる。① ○世界の資源・エネルギー問題について、資料を収集し、役立つ情報を適切に選択し、活用することを通して、技能を身に付けようとしている。③		
		6 節 世界の工業 (1) 7 節 第3次産業 (1)	○さまざまな工業や第3次産業の特色と立地条件について理解するとともに、工業地域の特色や変化について、具体的な事例から考察している。②④		
		8 節 世界を結ぶ交通・通信 (1) 9 節 現代世界の貿易と経済圏 (2)	○世界を結ぶ交通・通信の発達の変化及び国別の特徴について考察している。②		
8	3章 人口、村落・都市 (8)	1 節 世界の人口 (1) 2 節 人口問題 (2)	○世界の人口分布とその変遷について理解をしている。④ ○世界の人口増加とその分布の偏り及び人口構成と人口転換の特徴について理解している。④ ○時代により人口移動の違いについて考察している。②		ABCDELM
		3 節 村落と都市 (4) 4 節 都市・居住問題 (1)	○村落・都市の立地条件や機能について理解している。④ ○都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について理解している。④		
9	4章 生活と文化 (6)	1 節 生活文化 (2)	○先進国、発展途上国の都市問題について、現状を理解しその対策を考察している。②。 ○衣食住は、自然条件や社会条件		ABCDELM

1 0	第Ⅲ部 地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 (2) 2章 現代世界の諸地域 (33)	2節 民族と宗教 (1)	によって地域的差異がみられることに関心を高め意欲的に取り組んでいる。① ○世界の主要な宗教について、その分布と特色を理解している。④	1学期期末考査	ABCDELM ABCDELM
		3節 現代世界の国家 (1)	○国家の三要素、国境に関する諸問題について理解している。④		
		4節 民族・領土問題 (2)	○世界の民族・領土問題について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。① ○日本の民族・領土問題について、その解決には何が必要かを考察している。②		
1 1		1節 地域区分とは何か (1)	○地域区分について理解している。④		
		2節 地域区分の様々なスケール (1)	○“地誌”について理解している。④ ○近隣諸国としての東アジア世界と日本との共通性や異質性、日本との交流に関心を高め、意欲的に考察し理解している。①②③④		
		3節 東アジア (7)	○東南アジアの民族・文化や、農業地域について、その特色と地域的差異を考察している。② ○各国の農業・工業の特徴と日本との関わりについて理解している。④		
1 2	第Ⅲ部 現代世界と日本 (1)	4節 南アジア (2)	○国境を越えて共通する自然環境の様子や、イスラム教を通じた民族の交流と文化について関心を高め意欲的に取り組んでいる。① ○歴史的背景によって形成された多様な文化と発展途上国としての国家経済について理解を深め、それについて考察している。②④		ABCDELM
		5節 西アジアと中央アジア (2)	○国の枠を越えてまとまるEUのあゆみや現状について、人やものの交流を通して理解している。④ ○広大な国土とヨーロッパ圏およびアジア圏徒の結びつきを意識した発達について考察している。②		
		6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ (2)	○アングロアメリカの地域的発達と、自然条件が人々の生活に与える影響について考察している。② ○ラテンアメリカの地域の概況や、抱えている課題を考察している。② ○移民によって発達してきたオーストラリアを中心として、オセアニアの概況や、抱えている課題を考察している。② ○日本のODAの実績を他の先進国と比較して考察している。②		
1	総復習（演習）	7節 ヨーロッパ (4)			
		8節 ロシア (2)			
		9節 アングロアメリカ (5)			
		10節 ラテンアメリカ (2)			
		11節 オセアニア (2)			

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【思考・判断】→②、【資料活用・表現】→③、【知識・理解】→④として表現しています。